

1. 検討の背景・目的

背景

- 0～2歳児の子育ては、特に保護者の負担が大きく、家庭により子育ての形は様々であるが、他の年齢と比べて、比較的支援が手薄になっている。
- 0～2歳児の子育て家庭の半数以上は在宅等子育てを行っており、その中には、孤立した育児の実態も見られ、育児疲れやストレスを抱えている方も多くいる。

目的

- どのような家庭状況であっても、等しく子育てできる環境の整備を推進していくために、すべての子育て家庭が利用可能な「大阪市子育てサポートアプリ」を構築するための基本方針を策定する。
- また、在宅等子育て家庭が、精神的、身体的な負担軽減するための在宅等育児への支援メニューを利用する際に活用できる電子クーポンの配付についても検討・準備を行う。

(出典：0～2歳児保育無償化について～実現に向けたロードマップ)

2. 子育て支援の課題分析と対策

子育て支援サービスの課題

アプリのニーズ

① サービスの利用方法がわからない

情報が分散しているため、どこで何を探せば良いかわからず、利用の手続きができないといったアクセス性に問題がある。

② 自身がサービスの対象かどうかわからない

子育て支援サービスの認知度が低く、さらにサービスの対象条件が複雑で、自分たちが該当するかどうかわからない。

③ サービスの利用料が高い

子育てには教育費、医療費、食費など、さまざまな出費が重なり子育てサービスの利用料を負担に感じてしまう。

④ サービスの利用意向がない

保護者自身が育児をしている、こどもがまだ小さい等の理由で必要性を感じていない。

① 健診情報や予防接種の管理

こどもの健診情報や予防接種のタイミングについて、スケジュール管理したい。

② 子育てに関する情報発信

自治体からのお知らせ、イベント情報や地域・年齢ごとの情報など自分の状況に合致した子育て情報を入手したい。

サービス案内・お知らせ

オンライン申請

Q&A・問合せ

地図・施設検索

施設予約

電子クーポン

母子健康手帳機能

3. アプリ構築基本方針

子育てサポートアプリ

必要なサービスや施設を簡単に探せる

- 子育て情報を一元化し、利用者が必要な情報に簡単にアクセスできるよう、子育て支援サービスや施設の情報を整理・充実させ、より見やすく、もっと探しやすい。
- お住いの近くにある利用可能な子育て支援サービスや、申請できる可能性のある制度をナビゲートし、利用者の「わからない」を解消。

施設の検索から予約までスマートに

- いつでもどこからでも施設の空き状況が確認でき、オンラインでの事前の利用登録申請や予約が可能に。
- 他システムで申請や予約を受け付けているサービスも、スムーズに利用できるようID連携等の機能を備える。

今欲しいお知らせ情報が届く

- お住いの地域のお知らせや、イベント・年齢など属性に合った情報をお届け。
- 必要な情報をそれぞれの家庭へプッシュ通知でお知らせ。

母子健康手帳機能を使って便利に

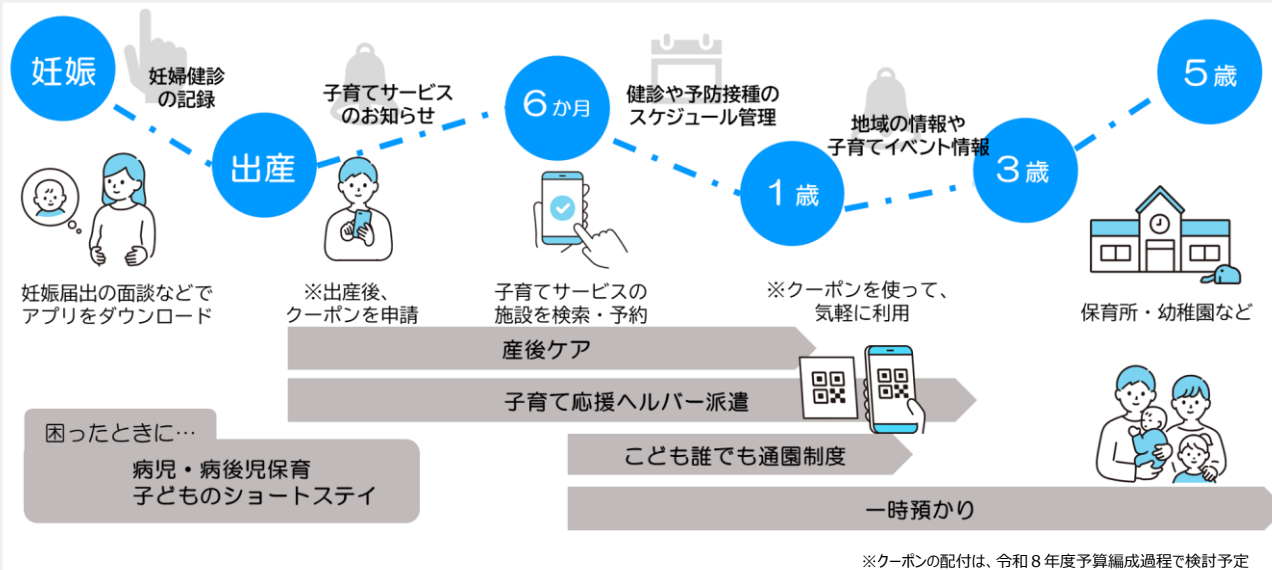
- 健診情報や予防接種の管理ができる母子健康手帳機能を導入することで、スケジュール管理を楽に。
- こどもの成長も記録でき、妊娠期から出産・子育て期までをサポート。

クーポンで気軽にサービスを利用できる

- 子育て支援サービスに使えるクーポンを配付することで経済的な負担を軽減するとともに、子育て家庭がサービスを利用するきっかけになり、育児負担の軽減に。
- 行政サービス以外にもおむつ等と交換できるカタログギフトサイトを用意。

※クーポンの配付は、令和8年度予算編成過程で検討予定

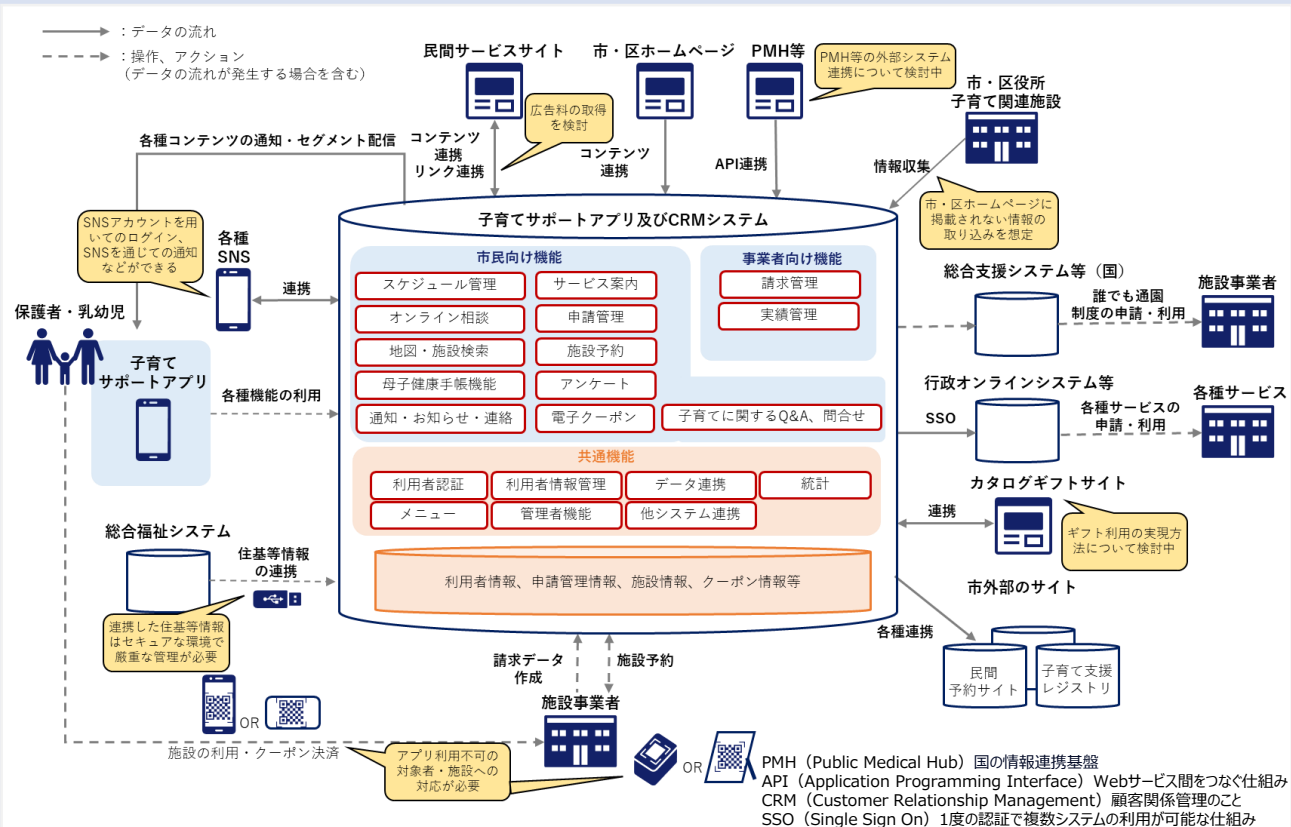
4. アプリの利用イメージ



※クーポンの配付は、令和8年度予算編成過程で検討予定

5. 子育てサポートアプリの概要

本アプリは、子育て家庭が求める情報・機能を幅広く提供し、他システムや施設事業者とシームレスに連携する。

PMH（Public Medical Hub）国の情報連携基盤
API（Application Programming Interface）Webサービス間をつなぐ仕組み
CRM（Customer Relationship Management）顧客関係管理のこと
SSO（Single Sign On）1度の認証で複数システムの利用が可能な仕組み

6. 実施スケジュール

令和6年度
令和7年度
令和7年冬頃
令和8年春頃～
令和8年秋頃～基本方針策定、調達仕様書の作成、アプリ開発・運用保守事業者の入札準備
総合評価一般競争入札によるアプリ開発・運用保守事業者の選定、アプリ開発
電子クーポンの配付を含めた保育無償化の実施は、令和8年度予算編成過程で検討予定
アプリ先行運用開始（母子健康手帳機能、施設検索、情報発信など）
アプリ本格運用開始（予定） ※保育無償化実施の検討次第